

神戸医療生協支援ニュース

2011年3月24日 第7号

3月23日現地からの報告です。

●お疲れ様。

今日は午前中歯科の診療が開始になり 午後は37・8人の内科診療高齢者は薬希望 こどもの風邪が増えています。18:30頃に北海道の医療生協が来られました。25日から交代して下さるようです 心強いですね この避難所は地域の高橋看護師が核になり医療チームができています 支援がうまく移行できればと願うばかりです。ミーティング風景添付します(北山保健師)

●今日は余震が多いです。でも現地の方はこのくらいの余震はあまり気にならない様子です。津波の恐怖体験の方があまりにも強すぎて…。家族の行方がわからないと言われる方や身内をなくした方のお話もたくさん聞きましたので…。地域の医療機関も少しずつ開きつつありますが、そこに通う手段が

問題です。ガソリンが手に入りにくかったり、バスもまだ通っていません。私たちの次に北海道民医連の看護師が2名配置されることになっていて、25日引き継ぎ、最後までここにいる予定です。(西川看護師)

●今日は昨日に引き続き避難所を回るチームの薬と物資の準備を一日してました。薬剤師からは今の所特に必要なものはないです。(武政薬剤師)

●こちらは今日から通常診療となり支援者の多くが避難所訪問に切り替えられました。正直少し邪魔物扱い? 医師、看護師、事務全てが過剰支援で配属に困っているような感じです。25人程の避難所に10人のチームで訪問など。大変な時期は過ぎたようです。必要な物は電気ポットなどお湯を沸かす手段が要ります。食料や飲料水などは自販機も回復しているのであまり必要ない気がします。後二日ですが頑張りましょう。

●すみません。ずーっと外来で連絡できずです。そのまま当直に入り、暇なはずの当直だったのに救急車二台、ウオークインが三名、病棟一名が全部重なり、てんやわんやでした。今、生きてますとしかとりあえず報告出来ません。今からカルテ書いて落ち着いたらもう一度報告文書を送ります。すみません。(横尾医師)



宮城・岡田小での支援者の打合せ風景

■対策本部事務局からのお知らせ

【本日 協同病院 眞鍋医師が支援に現地へ出発します】

・外来等の業務を終了させてから、夜新幹線で現地へ向かいます。4日間の日程で27日に神戸に帰ってきます。

【第4陣 支援 3月26日(土)～4月1日(金) 到着】

・運転出来る職員1名探しています。各事業所管理者と相談の上、ご検討下さい。

【現地支援 報告集会 開催のお知らせ】

とき: 3月29日(火) 17時30分～ 協同病院南館にて 上田院長始め、支援者からの報告を致します。

*昨日は「神戸新聞」(西川看護師)、「産経新聞 夕刊」(日比看護師)の取材記事が掲載されています。